岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　府中上下線外　道路災害防除事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　自然斜面

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県府中市斗升町	北緯	34° 39' 9.4000"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年12月 3日～ 令和3年12月 7日	東経	133° 10' 41.8000"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 331.68m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	40° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：ワイビーエム製YSO-1型 / エンジン：ヤンマー製TF-120VE型 / ポンプ：ワイビーエム製 SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
	331.48	0.20		砂礫	茶褐								草根を多く含む礫質土。	
	330.98	0.70		コンクリート	灰								張コンクリート	
1				砂礫	褐								草根を多く含む礫混じり土砂。礫は花崗岩礫を主体とする。マトリックスはまさ土で構成される。	12/6 1.20
2														
3	328.68	3.00		風化花崗岩	褐灰	w3	h3	C	Ⅳ	c	D		礫状～岩片状を呈する花崗岩。岩片は、ハンマーの軽打で砕ける。GL-3.50～3.90mまで縦亀裂が発達する。	
4	327.68	4.00		花崗岩	褐灰	w2	h2	B	Ⅲ	b	CL	29 [20] 100	短棒状～棒状コアを呈する花崗岩。コアは硬質で、ハンマーの軽打で砕けない。GL-6.3m～6.50mは礫状化する。全体に亀裂は多いが、GL-4.80m～5.30m、7.70m～8.50mなど部分的に亀裂の少ない部分も存在する。亀裂角度は約50°を主体とし亀裂には微量の粘土を挟む。GL-4.20m～4.50mでは縦亀裂が発達する。	12/7 4.40
5									Ⅱ		CM	38 [60] 100		
6									Ⅲ		CL	15 [27] 100		
7												32 [32] 100		
8									Ⅱ		CM			
									Ⅲ		CL			
									Ⅱ		CM	43 [56] 100		
9									Ⅲ		CL			
10	321.68	10.00							Ⅱ		CM	25 [40] 100		
									Ⅲ		CL			
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	6 / 300		
	1.45			
7	2.15	7 / 300		
	2.45			
50以上	3.15	50 / 200		
	3.35			
50以上	4.00	50 / 80		
	4.08			
50以上	5.00	50 / 20		
	5.02			

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
12/3	72	66/ケーシング	S/M	50	60	0	0	0
				50	60	0	0	0
12/6	80		W/D	40	110	2	10	10
12/7	90			50	120	2	12	12